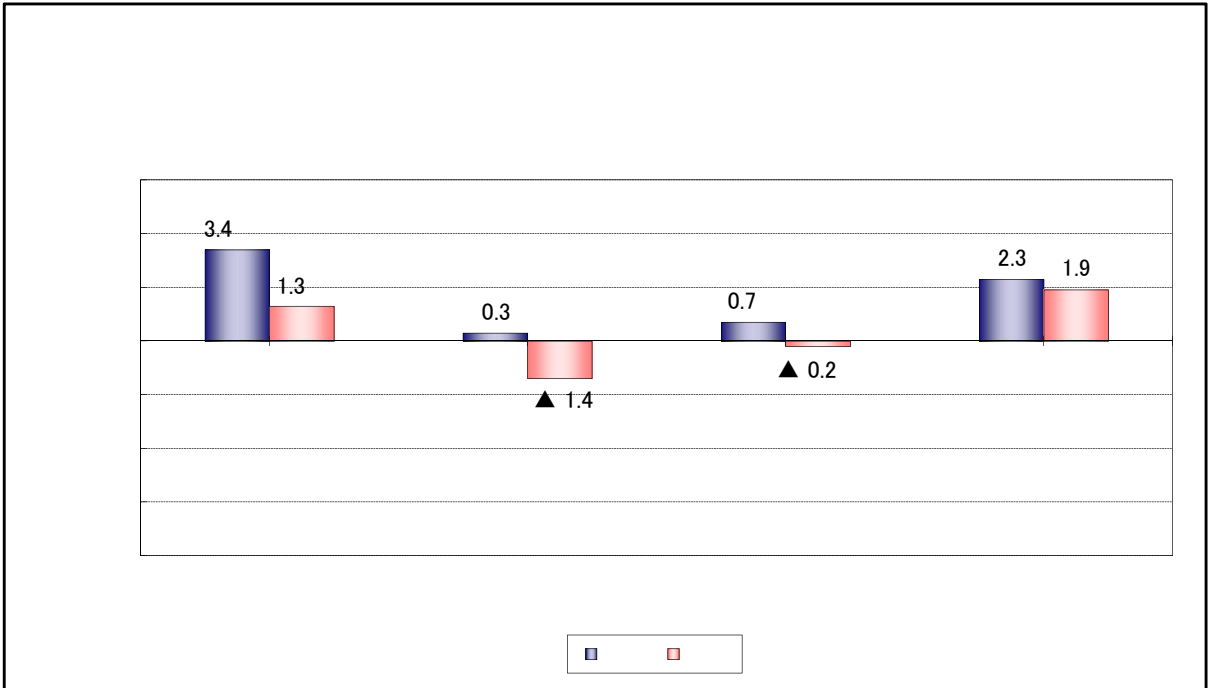
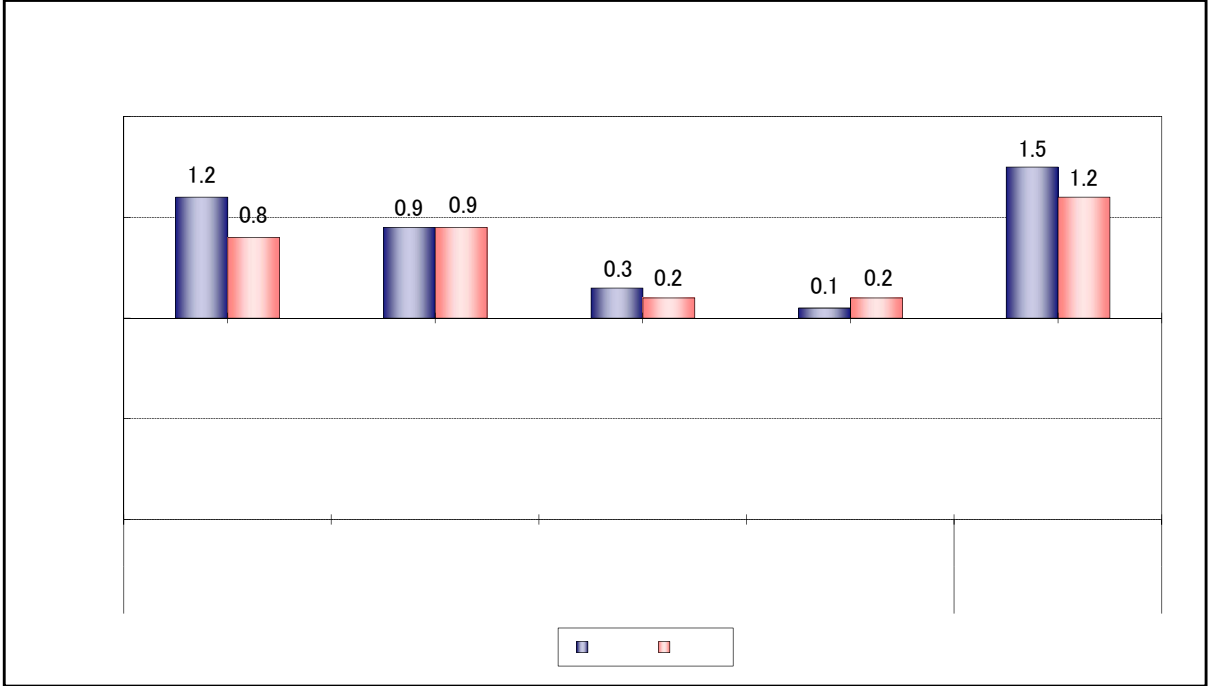
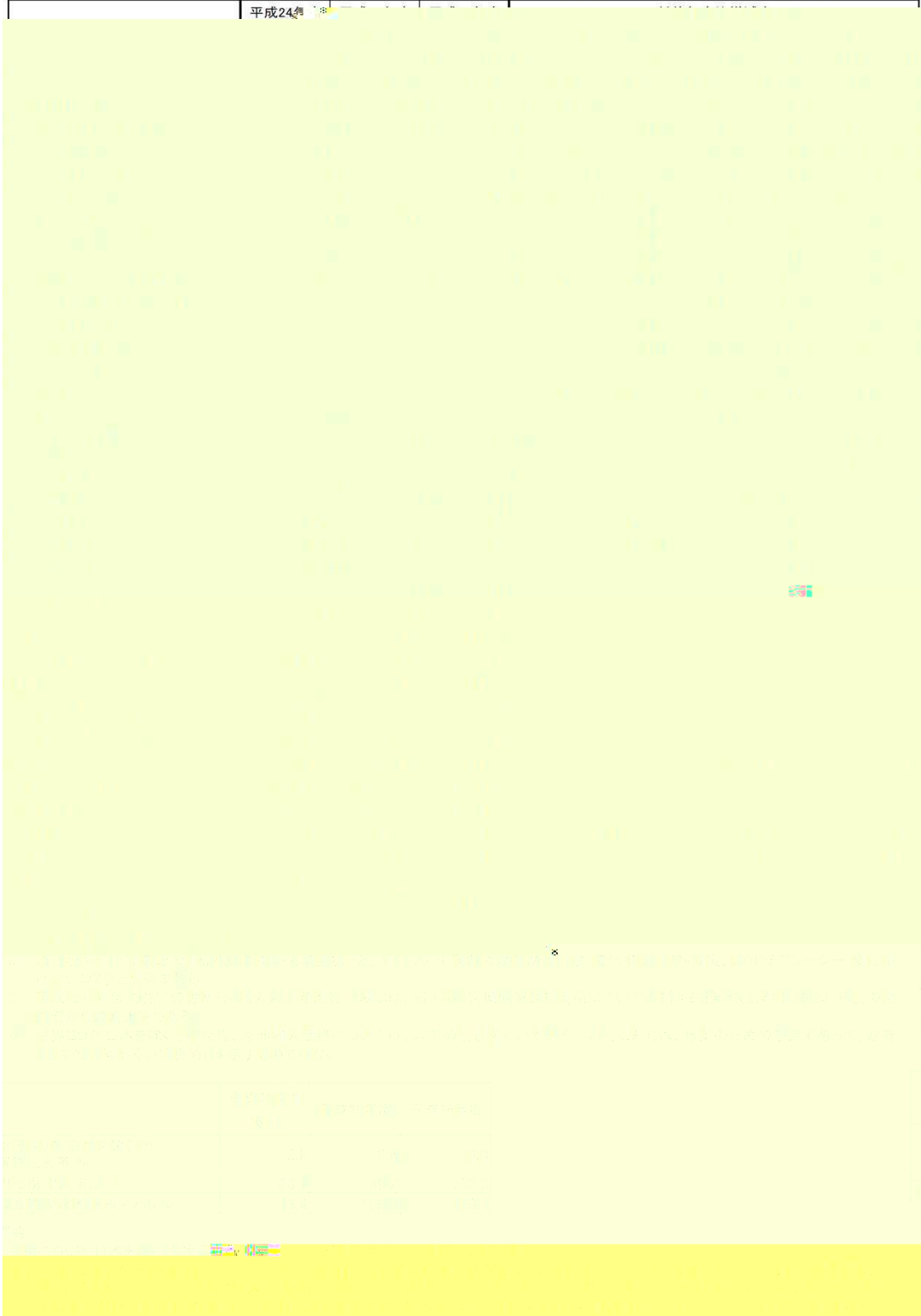


平成26年		
	<p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p>	<p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">_____</p>
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____





- ※ 本経済見通しに当たっては、「2. 平成26年度の経済財政運営の基本的態度」に記された経済財政運営を前提としている。
- ※ 我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見しがたい要素が多いことを鑑み、上記の諸係数はある程度幅を持って考えられるべきものである。

資料：内閣府「平成26年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（平成26年1月24日閣議決定）」

○ IMFの世界経済見通し（平成26年4月8日発表）

	2014年予測	2015年予測
米 国	2.8	3.0
ユーロ圏	1.2	1.5
中 国	7.5	7.3
世界計	3.6	3.9

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比。

○ OECDの世界経済見通し（平成26年5月6日発表）

	2013年予測	2014年予測	2015年予測
アメリカ	1.9	2.6	3.5
ユーロ圏	▲ 0.4	1.2	1.7
加盟国計	1.3	2.2	2.8

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比

○ アジア開発銀行のアジア大洋州主要国・地域別の経済成長見通し
（平成26年4月1日発表）

	2014年予測	2015年予測
地域全体	6.2	6.4
中 国	7.5	7.4
香 港	3.5	3.6
韓 国	3.7	3.8
台 湾	2.7	3.2
イ ン ド	5.5	6.0
インドネシア	5.7	6.0
マレーシア	5.1	5.0
フィリピン	6.4	6.7
シンガポール	3.9	4.1
タ イ	2.9	4.5
ベトナム	5.6	5.8

注) 単位：％、実質GDPの前年比伸び率

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度
		1月時点		1月時点		1月時点	
実質GDP 大勢見通し	+2.2~+2.3 < +2.2 >	+2.5~+2.9 < +2.7 >	+0.8~+1.3 < +1.1 >	+0.9~+1.5 < +1.4 >	+1.2~+1.5 < +1.5 >	+1.2~+1.8 < +1.5 >	+1.0~+1.5 < +1.3 >
〃 全員見通し	+2.2~+2.5	+2.5~+3.0	+0.5~+1.4	+0.6~+1.6	+1.0~+1.8	+1.2~+2.0	+0.8~+1.6

注1) 「大勢見通し」は、各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、最大値と最小値を1個ずつ除いて、幅で示したものであり、その幅は、予測誤差などを踏まえた見通しの上限・下限を意味しない。

2) 各政策委員は、既に決定した政策を前提として、また先行きの政策運営については市場の織り込みを参考にして、上記の見通しを作成している。

3) 今回の見通しでは、消費税率について、既に実施済みの8%への引き上げに加え、2015年10月に10%に引き上げられることを織り込んでいる。